

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立瑞穂農芸学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長（事務局長）、主幹教諭（教務主任） 計2名
- (3) 内部委員の構成
経営企画室長、各分掌主任（教務主任、生活指導主任、進路指導主任、学年主任）、養護教諭 計6名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
子ども家庭支援センター長、近隣中学校長、近隣小学校長、警察署生活安全課、同窓会長、PTA 会長、PTA 副会長 計7名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年6月7日（金）内部委員6名、協議委員5名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
令和5年度学校経営報告並びに令和6年度学校経営計画について
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和6年11月21日（木）内部委員5名、協議委員4名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
学校評価アンケート案の検討
 - 第3回 令和7年2月7日（金）内部委員6名、協議委員6名
令和6年度学校経営報告について
これまでの教育活動に関する報告
学校評価アンケートの報告及び学校運営に関する提言、協議
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
未実施

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全校生徒 対象：30人 回収：29人 回収率：97%
 - ・12月 保護者全員 対象：30人 回収：17人 回収率：57%
 - ・12月 教職員 対象：9人 回収：9人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
学校生活、学習指導、進路指導、経営企画室、施設設備、給食、読書状況、学校HPやX（旧 TWITTER）の閲覧回数等について
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・学校生活については、生徒は85.0%、保護者は91.0%、教職員は95.0%の満足度を得ている。
 - ・授業については、生徒は85.8%、保護者は93.5%、教職員は98.1%の満足度を得ている。
 - ・進路指導については、生徒は72.2%、保護者は80.5%、教職員は72.2%の満足度を得ている。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等について更に説明を行うことが大切である。
 - ・学校評価から、本校は学校として落ち着いた状況にあるが、生徒・保護者の進路指導への満足度が低い。来年度以降、この満足度の数字を上げていく取組が必要である。
 - ・多くの生徒が、教師が親切で迅速に対応してくれる点を高く評価している。教師のサポートが生徒にとって大きな安心感を与えている。

- ・今年度のアンケートでは、保護者からの回答数が昨年度より約 30%増えている。また、学校への信頼度やわかりやすい授業について、多くの保護者が好意的に捉えている。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施、充実が引き続き必要であると認識できた。
- ・今年度は、昨年度以上に保護者の皆様から学校への信頼を高く評価していただいた。次年度以降も、引き続き開かれた学校を目指し、保護者の皆様との協力を一層強化して、より良い学校づくりに努めていきたい。
- ・協議委員の方々より、貴重な意見等を聞くことができ、外から見る生徒の様子、学校の在り方などを知ることができた。
- ・毎日学校のホームページを更新することで、本校の取り組みを理解していただいた。また、保護者や近隣の中学生在が気軽に授業参観できるような取り組みを実施し、効果を上げることもできた。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・学校の人事異動に伴い、学校ホームページや X（旧 Twitter）の更新頻度がどうか。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・生徒、保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
- ・入学した生徒が誇りを持ち、充実感を得ることが出来る学校生活を送れる学校づくりを目指す。

（2）学習指導

- ・小中学校や地域との連携について、方法も含めできることを模索し、瑞穂農芸高校として生徒を育てるグランドデザインを深めていく。
- ・進路実現（第一志望合格）ができる学力向上を図る。
- ・少人数授業（国語・数学・英語）を行い、各自の進路にあわせたきめ細かな学習指導を充実する。

（3）特別活動

- ・生徒会活動の活性化を図り、生徒間の協調性を養う。
- ・瑞高祭等、学校行事を通じて生徒の育成を図る。
- ・部活動の活性化を図り、心身ともに成長を図る。

（4）生活指導

- ・教員の指導力を高め生徒一人一人に寄り添い、いじめや体罰のない正義の通る学校を目指す。
- ・生活指導の重要性を教員に理解させ、全員で組織的に生活指導を行う体制を構築する。
- ・自転車マナーの改善・ヘルメットの着用等、交通安全教育の徹底を図る。

（5）進路指導

- ・進路指導部の組織的運営を目指す。
- ・面接指導や小論文指導、進路講演会、上級学校訪問への参加等で、進路への動機づけを図る。
- ・インターンシップを活用しキャリア教育の充実を図る。

（6）健康・安全

- ・生活指導部を中心に、日常的に心身の健康の維持、増進を図る。
- ・スクールカウンセラーを活用し、1年生のみならず在籍生徒全員のカウンセリングを実施する。
- ・避難訓練、セーフティ教室等を実施し、安全意識の浸透を図る。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回

8 その他

- ・アンケートの回収率については Classi と Forms を上手に使いこなしたことで上昇したと分析できる。